

農林水産大臣賞

道産カラマツの安定供給システムの確立と高付加価値化の取組み
－地域資源を合板向け需要拡大へ活路開く－

津別単板協同組合（代表者 理事長 大越廣伸）
丸玉産業株式会社（代表者 代表取締役 大越廣伸）

事業体の構成
津別単板協同組合

組合員数7（合板製造1、製材チップ1、素材生産4、素材供給1）

〒092-0203 北海道網走郡津別町字達美167
電話01527-5-5101 FAX01527-5-5105

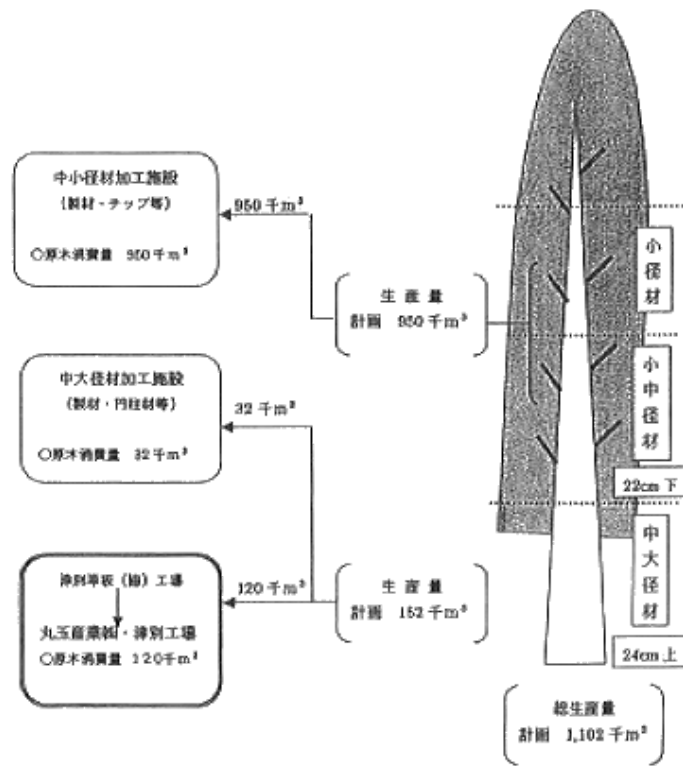
丸玉産業株式会社

従業員数718名
（関連企業津別単板協同組合、阿寒木材協同組合、道東資材株式会社）

〒092-0203北海道網走郡津別町字達美
電話01527-5-5101 FAX 01527-5-5105



事業の仕組み



1. 地域の概要

網走支庁管内は、豊かな森林資源を背景に古くから林業・木材産業が発達してきた地域である。

管内の森林面積は、土地面積の73%、全道の森林面積の14% (778千ha) を占めている。そのうち、国有林が56%を占め、一般民有林の比率は30%となっている。一般民有林のうち、約6割 (133千ha) がカラマツ・トドマツを主体とする人工林であるが、その大部分が、除間伐が必要な3~7齢級の林分となっている。緊急間伐五カ年対策の重点的な実施により出材量の増加が見込まれ、管内でも重点的な取組みが進められている。

産業別製造品出荷額をみると、木材・木製品の占める割合は10.5% (全道5.1%) となっており、木材産業は管内の基幹産業としての位置付けを保っている。

2. 事業内容

(1) 事業の目的

梱包材など輸送用資材として利用されてきたカラマツ材の高付加価値化、有効活用を図るため、最新鋭の切削・乾燥技術を備えた施設の導入、生産ラインの徹底したオートメーション化により、生産コストの低減を図るとともに、カラマツ原木の安定供給システムの確立を目指す。

(2) 事業の内容

1. 協同組合によるカラマツ原木の集荷

1. 年間原木消費量は12万 m^3 (計画ベース) : 集荷規模は全道一
2. 道森連系統を主体とする広域的な集荷 : 近隣支庁からも原木を確保

2. 最新鋭の技術、設備によるカラマツ合板の製造

1. 生産歩止りの飛躍的な向上：径級が細い道産カラマツが加工可能な施設
2. 搬送ライン、単板の仕組み工程を自動化：従来の生産コストを大幅に縮減
3. サイズの多様化に対応した施設：10尺サイズの構造用合板も製造可能

3. 道産カラマツ材の高付加価値化

1. 製材（輸送用資材）に限られていたカラマツ材の建築部材としての用途を開拓
2. 住宅メーカーとの太いパイプによる需要開拓で、従来の原料（ラワン材）からのスムーズな移行を実現

（3）施設の整備状況

別表1のとおり

（4）事業の実績

別表2のとおり

（5）事業の成果（事業体の評価）

1. 操業を開始してからまだ2年目であるが、現時点ではほぼ計画通りに事業を実施している。
1. 平成12年度は操業開始が4月であったことから、上半期の生産量が計画より落ち込み、計画量の65%程度の実績となった。
2. 平成13年度については、計画している原木消費量（87,000m³）を確保できる見込みとなっている。
2. 収支については、平成12年度の売上が生産量に比例して計画を下回り、経常損失を計上したが、平成13年度は生産量が前年より増加していることから若干の損失にとどまる見込み。
3. 丸玉産業がISO9002を取得。品質管理体制の確立により、顧客ニーズの多様化に応えることが可能となるとともに、国内初の道産カラマツ構造用合板の注目度は一層高まっている。

（6）今後の取り組み

平成14年度の原木消費量12万m³を目標として、なお一層のコスト低減と生産性の向上を図る。具体的には、製品品質の識別自動化などの施設整備と、24時間稼働体制への移行を図る。

また、今後は、より高品質の製品開発と高水準の品質管理システムの確立を目指すとともに、地域資源の有効活用の視点から環境マネジメントシステム（ISO14001）の取得も検討していく。

原木の確保については、低迷している地域林業の現状を踏まえ、安定した価格で地域のカラマツ材の仕入れに努め、また、多様化する製品サイズへの対応として、原木供給と単板製造との連携を強化し、効率的な原木確保を図る。

将来的には、トドマツ間伐材の利用も視野に入れた新たな施設整備を行い、地域の人工林材の加工拠点としての役割を担う総合施設を目標としている。

別表1 戻る

施設（機械）名	整備年度	導入数量	備考
原木集荷・単板製造施設			・津別単板協同組合
チップパー			景気対策臨時緊急特別
剥皮施設	H11	2 台	林業構造改善事業
貯木場整備新設	"	1 式	
原木蒸煮装置	"	1箇所	
原木ストックコンベア	"	6 基	
ロータリーレーン	"	1 式	
ナイフ研磨機	"	1 式	
ベニヤドライヤー	"	1 台	
エッジグルアー	"	1 式	
電気・ボイラー施設	"	3 台	
木材加工用機械等	"	1 式	
ログローダー	H11	3 台	
フォークリフト	"	2 台	
グラップル付きショベル	"	1 台	
合板製造施設			・丸玉産業株式会社
スプレッター	H11	1 式	
ホットプレス	"	1 式	
コールドプレス	"	1 式	
調板装置	"	1 式	
搬送施設	"	1 式	
製品保管庫	"	1 棟	

別表2 戻る

種別	平成11年度		平成12年度	
	計画	実績	計画	実績
(原木消費量・m ³)			84,000	55,945
(単板生産量・m ³)	-	-	50,400	33,082

3. 別紙 津別単板協同組合の概要

1. 組合の概要

- ・ 名称 ? 津別単板協同組合
- ・ 所在地 網走郡津別町字達美167番地
- ・ 設立年月 平成10年2月
- ・ 代表者 理事長 大越 廣伸
- ・ 組合員数 7名
- ・ 出資金額 40,000千円
- ・ 常勤役員数 32名
- ・ 共同購入量 48,793m³
- ・ 共同出荷量 32,939m³

2. 構成員一覧

役職名	団体名	代表者名	住 所
理事長	丸玉産業（株） ・合板製造	大越 廣伸	北海道網走郡津別町字新町
理事	熊谷林産（株） ・製材、チップ	熊谷 勲	北海道網走郡津別町字共和
理事	阿寒木材（株） ・素材生産、製材	大越 廣伸	北海道網走郡津別町字相生
監事	（有）長良木材店 ・素材生産	長良 一夫	北海道網走郡津別町字最上
	（有）佐藤産業 ・素材生産	佐藤 岩松	北海道網走郡津別町字豊永
	北海道森林組合連合会 ・素材供給	清水 晴夫	札幌市中央区北2西19
	北見広域森林組合 ・素材生産、製材	小田島 利英	北海道網走郡津別町字共和
計	7社		

別紙 丸玉産業株式会社の概要

企業の概要

- ・社名 丸玉産業株式会社
- ・所在地 北海道網走郡津別町字新町7番地
- ・創業 大正14年8月1日
- ・資本金 1億円
- ・代表者 取締役社長 大越廣伸
- ・従業員数 718名 (H12)
- ・関連企業 津別単板協同組合、阿寒木材株式会社、道東資材株式会社

企業の構成

